

対馬市議会議員定数のあり方についての意見・募集結果

対馬市議会の議員定数のあり方について、意見募集を行った結果、10人から意見が提出されたので、次のとおりお知らせします。

●【募集期間】平成27年10月15日(木)から10月30日(金)まで

●【意見の集計結果】

提出方法	人 数
直接提出	0人
郵 送	2人
ファクシミリ	3人
電子メール	5人
合 計	10人

●【設 問】議員定数についてどう考えていますか？

No.	意見(要点)	その理由(要点)
1	現在のままでよい。	南北に細長い地理的条件から、定数を減らせば、市民との意思疎通が円滑に図れない。また、議員の有機的な活動・活躍が阻害される。
2	12人	少数精鋭でハードルを上げ、もう少し質の高い議会を望む。
3	減少すべきである。	人口が減った場合は、議員数も減らすべきである。
4	30人	考え方が多くなり、競争意欲も増し、やる気も大きくなり活気がでる。ただし、報酬は20万円に下げる。
5	7～8人	対馬のことを考えていない議員が多すぎる。
6	18人 選挙区を設ける。	人口2千人に対して議員1人の割合にし、旧6町の6選挙区に割り当てることで、市民は選挙区内の身近な人を選択できる。
7	現状のままでよい。	議員定数は現状のままでよいと思うが、議員の高齢化が進んでおり、若者が一定割合で議会に参加すべきある。また、以下のような問題もあり、議員定数を見直すのであれば、考慮する必要がある。 議会の活動が全く見えない。議員の数が少ないことで議会広報等の活動が手薄になっているなら、議員数を増やす必要がある。 資質に疑いがある議員がおり、議員数を減らして精鋭化を図るべきである。
8	15人	議員数、報酬を削減し、その財源を他に充てるべきである。
9	15人	人口32,500人に対して、議員数が多すぎる。
10	12人	定数を半減し、報酬を倍に引き上げ、真摯に市民に向き合う議会へと改革すべきである。